

令和6年度事業報告



日本赤十字社山梨県支部

目 次

I 支部事業について

- 1 救援活動について 1
- 2 赤十字講習の普及状況について..... 3
- 3 赤十字ボランティアの活動状況について..... 6
- 4 青少年赤十字の活動状況について..... 10
- 5 献血事業について..... 10
- 6 赤十字社旨普及活動について..... 10

II 施設事業

- 1 山梨赤十字病院..... 12
- 2 山梨県赤十字血液センター..... 15

I 支部事業について

1 救援活動について

(1) 災害救護活動

○令和6年度救護員等の派遣要請なし

(2) 臨時救護活動

○護国神社例大祭（春季） 救護員 4名（看護師2名、主事2名）

○護国神社例大祭（秋季） 救護員 3名（看護師2名、主事1名）

(3) 義援金・救援金

ア 義援金

義援金名称	件数	金額
令和6年能登半島地震災害義援金	190件	23,282,278円
令和6年7月25日からの大雨災害義援金	20件	209,185円
令和6年9月能登半島大雨災害義援金	121件	14,707,052円
令和6年沖縄県北部豪雨災害義援金	5件	11,762円
令和7年岩手県大船渡市赤崎町林野火災義援金	34件	1,010,178円
合計	370件	39,220,455円

○受付が終了した義援金

① 令和6年7月25日からの大雨災害義援金（令和7年3月31日受付終了）

② 令和6年沖縄県北部豪雨災害義援金（令和7年3月31日受付終了）

イ 救援金等

救援金等名称	件数	金額
NHK 海外たすけあい	572件	5,124,318円
ウクライナ人道危機救援金	10件	280,217円
イスラエル・ガザ人道危機救援金	3件	23,682円
2024年台湾東部沖地震救援金	23件	943,736円
合計	608件	6,371,953円

○受付が終了した救援金

① 2024年台湾東部沖地震救援金（令和6年6月28日受付終了）

② アフガニスタン人道危機救援金（令和7年3月31日受付終了）

③ イスラエル・ガザ人道危機救援金（令和7年3月31日受付終了）

④ レバノン人道危機救援金(令和7年3月31日受付終了)

(4) 救援物資配分並びに備蓄状況(令和7年3月31日)

品名	配分数	備蓄数	備考
毛布	23枚	5,527枚	
緊急セット	15個	822個	
安眠セット	0個	517個	

*上記以外に地区区分(市町村)に毛布2,650枚、緊急セット360個の備蓄があります。

(5) 参加訓練・研修会

月日	行事	会場	参加者数	
9月15日	甲府市総合防災訓練	甲府市立 池田小学校	救護員(救護班) 災害対策本部要員	6 2
11月10日	甲府市自治会連合会防災訓練	自治会連合会各会場	支部職員 防災ボランティアリーダー	3 1
11月24日	山梨県地震防災訓練	身延町総合文化会館	支部職員 防災ボランティアリーダー	2 2
11月30日 ~12月1日	第2ブロック支部総合訓練	千葉県成田市	救護員(救護班) 災害対策本部要員	6 4
12月21日 ~22日	全国救護班研修	東京都支部	受講者 スタッフ	2 1
3月19日	災害対策本部要員研修	東京都支部	支部職員	1

(6) 赤十字奉仕団員等災害救護訓練

日程	10月2日	10月8日	10月9日	10月29日	合計
地区名	富士・東部地域	中北地域	峡南地域	峡東地域	
会場	富士河口湖 町民体育館	玉穂総合会館	富士川町民会館	山梨市民総合 体育館	
奉仕団員	67	69	41	75	252
地区区分職員	17	10	10	10	47
指導者	13	11	10	11	45
合計	97	90	61	96	344

(7) 救護員養成

日本赤十字看護大学

	1学年	2学年	3学年	4学年	合計
在学生数	0	0	2	1	3

(8) 日本赤十字社看護師同方会山梨県支部

会員数	182名	○年間活動 ・総会及び研修会 令和6年7月5日(金) 山梨赤十字会館 参加者:3名(参集)、4名(Web) ・役員会の開催 ・山梨県護国神社例大祭での救護所開設(春・秋) ・支部主催事業への協力
顧問	保延 登芽子	
〃	渡邊 和彦	
〃	鹿間 裕介	
会長	岡本 理恵	
副会長	清水 邦子	
〃	渡辺 久子	
幹事	平賀 祐湖	
〃	田中 みや子	
監事	渡辺 満穂	

2 赤十字講習の普及状況について

講習実施状況

区分	短期講習		養成講習		合計	
	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数
救急法基礎	121	3,438	27	438	148	3,876
救急法	46	1,264	12	187	58	1,451
水上安全法	0	0	0	0	0	0
雪上安全法	0	0	0	0	0	0
幼児安全法	20	344	2	12	22	356
健康生活支援講習	0	0	0	0	0	0
合計	187	5,046	41	637	228	5,683

(1)救急法(指導員数86名)

○救急法基礎講習

主催	月日	会場	受講者数
山梨赤十字病院看護部	4月10日	山梨赤十字病院	15
山梨森林協会林業労働センター	5月20日	山梨県林業会館	10
株式会社トリケミカル研究所	5月24日	株式会社トリケミカル研究所 Annex 棟	10
日本赤十字社山梨県支部	5月29日	山梨赤十字病院	4
株式会社アドブレーション	6月21日	清泉寮	21
帝京福祉専門学校	7月2日	帝京福祉専門学校	6
株式会社エノモト	7月11日	株式会社エノモト	15
株式会社エノモト	7月18日	株式会社エノモト	12
山梨学院大学スポーツ学部	7月20日	山梨学院大学スポーツ学部	19
日本赤十字社山梨県支部	7月24日	山梨県赤十字会館	20
山梨市社会福祉協議会	8月6日	山梨市民会館	9
山梨市社会福祉協議会	8月7日	山梨市民会館	8
日本赤十字社西八代・南巨摩地区	8月28日	六郷ふれあいセンター	19
日本赤十字社西八代・南巨摩地区	8月29日	南部町役場南部分庁舎	18
富士吉田市看護専門学校	9月4日	富士吉田市看護専門学校	27
山梨県警察本部	9月9日	山梨県警察学校	29
株式会社トリケミカル研究所	9月19日	株式会社トリケミカル研究所 Annex 棟	16
日本赤十字社山梨県支部	9月25日	山梨赤十字病院	12
甲府ビルサービス株式会社	9月30日	甲府ビルサービス株式会社	8
甲府ビルサービス株式会社	10月11日	甲府ビルサービス株式会社	10
山梨県歯科衛生専門学校	10月30日	山梨県歯科衛生専門学校	45
日本赤十字社山梨県支部	11月6日	山梨赤十字会館	12
甲府地区建設業協会	12月4日	甲府地区建設業協会	15
日本赤十字社山梨県支部	1月11日	山梨赤十字会館	17
山梨県警察本部	1月14日	山梨県警察学校	20
日本赤十字社山梨県支部	3月1日	山梨赤十字会館	35
帝京福祉専門学校	3月26日	帝京福祉専門学校	6

○救急法救急員養成講習

主催	月日	会場	受講者数
山梨赤十字病院看護部	4月10日 ～12日	山梨赤十字病院	15
日本赤十字社山梨県支部	5月29日 ～31日	山梨赤十字病院	4
帝京福祉専門学校	7月2日 ～4日	帝京福祉専門学校	6
日本赤十字社山梨県支部	7月24日 ～26日	日本赤十字社山梨県支部	20
山梨県警察本部	9月9日 ～20日	山梨県警察学校	29
日本赤十字社山梨県支部	9月25日 ～27日	山梨赤十字病院	12
山梨県歯科衛生専門学校	10月31日 ～11月2日	山梨県歯科衛生専門学校	45
日本赤十字社山梨県支部	11月6日 ～8日	日本赤十字社山梨県支部	12
山梨県警察本部	1月14日 ～22日	山梨県警察学校	29
日本赤十字社山梨県支部	1月17日 ～18日	日本赤十字社山梨県支部	12
日本赤十字社山梨県支部	3月7日 ～8日	日本赤十字社山梨県支部	6
帝京福祉専門学校	3月27日 ～28日	帝京福祉専門学校	6

(2) 幼児安全法(指導員 15名)

○幼児安全法支援員養成講習

主催	月日	会場	受講者数
日本赤十字社山梨県支部	5月9日 ～10日	山梨赤十字会館	7
日本赤十字社山梨県支部	8月29日 ～30日	山梨赤十字病院	5

(3)防災教育セミナー

主催	月日	会場	受講者数
県立青洲高等学校	6月21日	県立青洲高等学校	37
山梨県歯科衛生専門学校	10月29日	山梨県歯科衛生専門学校	45
山梨市赤十字奉仕団	12月17日	山梨市民会館	34
甲州市赤十字奉仕団	12月21日	甲州市役所	7
赤十字奉仕団山梨県支部委員会	3月6日	山梨赤十字会館	25

3 赤十字ボランティアの活動状況について

(1)地域赤十字奉仕団(2, 585人:令和7年3月31日現在)

(単位:名)

月日	行事	会場	参加者数
5月22日	赤十字奉仕団山梨県支部委員会	山梨赤十字会館	15
5月30日	赤十字奉仕団中央委員会	本社	1
9月26日	赤十字ボランティア基礎研修会	山梨赤十字会館	40
9月27日	赤十字ボランティア基礎研修会	山梨赤十字会館	14
10月2日	赤十字奉仕団等災害救護訓練(富士・東部地域)	富士河口湖町民体育館	97
10月8日	赤十字奉仕団等災害救護訓練(中北地域)	玉穂総合会館	90
10月9日	赤十字奉仕団等災害救護訓練(峡南地域)	富士川町民会館	61
10月29日	赤十字奉仕団等災害救護訓練(峡東地域)	山梨市民総合体育館	96
11月7日	日本赤十字社第2ブロック赤十字奉仕団 委員長・支部担当課長会議	群馬県社会福祉総合センター	1
3月6日	赤十字奉仕団委員長研修会	山梨赤十字会館	25
3月13日	赤十字ボランティア国際人道法セミナー	山梨赤十字会館	30

移動献血バスに対する奉仕活動

地区・分区	回数	参加者数	地区・分区	回数	参加者数
甲 府 市	3	12	早 川 町	-	-
富士吉田市	2	8	身 延 町	4	21
都 留 市	2	6	南 部 町	2	5
山 梨 市	3	16	富 士 川 町	4	12
大 月 市	2	4	昭 和 町	3	17
韭 崎 市	3	6	道 志 村	2	3
南アルプス市	9	28	西 桂 町	2	7
北 杜 市	11	25	忍 野 村	-	-
甲 斐 市	5	17	山 中 湖 村	1	2
笛 吹 市	6	26	鳴 沢 村	2	6
上 野 原 市	2	7	富士河口湖町	2	6
甲 州 市	5	24	小 菅 村	2	6
中 央 市	4	18	丹 波 山 村	1	2
市川三郷町	3	11	計	85	295

(2) 青年赤十字奉仕団(13名:令和7年3月31日現在)

月 日	行 事	会 場	参加者数
4月14日	移動採血協力	イオンモール甲府昭和	1
4月24日	移動採血協力	山梨大学	1
5月11日	青年赤十字奉仕団全国協議会(第1回)	Web 開催	1
6月22日	第2ブロック支部青年赤十字奉仕団連絡協議会(第1回)	Web 開催	1
9月24日	総会及び団員研修会	山梨赤十字会館	2
11月23日 ~24日	第2ブロック支部青年赤十字奉仕団連絡協議会(第2回)	栃木県宇都宮市 (ホテルニューイタヤ)	1
1月18日	青年赤十字奉仕団全国協議会(第2回)	Web 開催	1

■定例会 随時

(3) 特殊赤十字奉仕団

ア 無線赤十字奉仕団(25名:令和7年3月31日現在)

月 日	行 事	会 場	参加者数
5月18日	総 会	山梨赤十字会館	7
5月22日	赤十字奉仕団山梨県支部委員会	山梨赤十字会館	1

6月15日	非常無線通信訓練(和歌山島)	団員自宅	1
7月20日	非常無線通信訓練(北海道)	団員自宅	1
10月 9日	赤十字奉仕団員等災害救護訓練(峽南)	富士川町民会館	7
10月 9日	屋外非常無線通信訓練	富士川町民会館	7
11月 2日	非常無線通信訓練(宮城県)	団員自宅	1
11月17日	非常無線通信訓練(静岡県)	団員自宅	1
12月22日	非常無線通信訓練(愛知県)	団員自宅	1
12月22日	非常無線通信訓練(茨城県)	団員自宅	1
1月17日	非常無線通信訓練(兵庫県)	団員自宅	1
1月26日	非常無線通信訓練(神奈川県)	団員自宅	1
3月6日	赤十字奉仕団委員長研修	山梨赤十字会館	1
3月13日	赤十字ボランティア国際人道法セミナー	山梨赤十字会館	1
3月22日	非常無線通信訓練(島根県)	団員自宅	1
3月23日	非常無線通信訓練(島根県)	団員自宅	1

イ 安全赤十字奉仕団(43名:令和7年3月31日現在)

月 日	行 事	会 場	参加者数
5月19日	総会	山梨赤十字会館	6
5月19日	団員研修会	山梨赤十字会館	6
5月22日	赤十字奉仕団山梨県支部委員会	山梨赤十字会館	1
9月23日	団員研修会	上吉田コミュニティーセンター	3
12月8日	武田の杜トレイルラン救護	武田の杜～健康の杜	3

ウ 救護赤十字奉仕団(28名:令和7年3月31日現在)

月 日	行 事	会 場	参加者数
5月	総会	文書審議	
5月12日	柔道大会救護活動(関東ジュニア大会)	小瀬スポーツ公園武道館	1
6月17日	柔道大会救護活動(全国高校総体県予選)	小瀬スポーツ公園武道館	1
7月7日	柔道大会救護活動(県下少年柔道大会)	小瀬スポーツ公園武道館	2
9月28日	柔道大会救護活動(高校柔道新人大会)	小瀬スポーツ公園武道館	1
12月1日	柔道大会救護活動(関東柔道山梨予選)	小瀬スポーツ公園武道館	1
3月6日	赤十字奉仕団委員長研修	山梨赤十字会館	1

エ 赤十字救済バイクV・Sやまなし(104名:令和7年3月31日現在)

月 日	行 事	会 場	参加者数
5月19日	総会	山梨赤十字会館	27
5月22日	赤十字奉仕団山梨県支部委員会	山梨赤十字会館	1
9月15日	甲府市総合防災訓練	甲府市立池田小学校	19
9月15日	秋の走行・無線訓練	甲府市立池田小学校～道の駅富士川	19

オ 青少年赤十字賛助奉仕団(30名:令和7年3月31日現在)

月 日	行 事	会 場	参加者数
7月11日 ～12日	全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会総会 創立 60 周年記念式典	日本赤十字社本社	1
10月 2日	赤十字奉仕団員等災害救護訓練(富士・東部)	富士河口湖町民体育館	3
10月 8日	赤十字奉仕団員等災害救護訓練(中北)	玉穂総合会館	2
10月 9日	赤十字奉仕団員等災害救護訓練(峡南)	富士川町民会館	1
10月29日	赤十字奉仕団員等災害救護訓練(峡東)	山梨市民体育館	4
10月31日	全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会2B 研究会	栃木県支部	3
11月 1日	奉仕団視察研修	栃木県内	3
11月18日	青少年赤十字研究指定公開研究会	中央市立玉穂中学校	1
12月13日	臨時総会	山梨赤十字会館	4
3月21日	役員会	山梨赤十字会館	4

カ 拡大写本赤十字奉仕団(20名:令和7年3月31日現在)

月 日	行 事	会 場	参加者数
5月13日	総会	山梨赤十字会館	20
5月22日	赤十字奉仕団山梨県支部委員会	山梨赤十字会館	1
8月19日	教科書納入 盲学校 12分冊	県立盲学校	1
	〃 大阪市立楠根小学校 12分冊	山梨赤十字会館	
1月20日	絵本寄贈 盲学校 3冊	県立盲学校	4
3月24日	教科書納入 盲学校 12分冊	県立盲学校	1
	〃 大阪市立楠根小学校 27分冊	山梨赤十字会館	

■活動日 毎週月曜日 拡大写本・絵本作成 20名

(4) 個人ボランティア(令和7年3月31日現在)

ア 防災ボランティア(個人登録30名・団体登録5団体:251名)

イ 防災ボランティアリーダー(11名)

ウ 防災教育指導者(6名)

月 日	行 事	会 場	参加者数
5月17日	第 1 回防災教育事業主任指導者研修	Web 開催	1
9月4日 ～5日	第 2 回防災教育事業主任指導者研修及び フォローアップ研修	日本赤十字社本社	1

(5) 赤十字奉仕団指導講師(7人:令和7年3月31日現在)

月 日	行 事	会 場	参加者数
8月8日	第1回奉仕団指導講師会議	山梨赤十字会館	5
9月26日	赤十字ボランティア基礎研修会	山梨赤十字会館	6
9月27日	赤十字ボランティア基礎研修会	山梨赤十字会館	4
1月16日	第2回奉仕団指導講師会議	山梨赤十字会館	5
3月13日	赤十字ボランティア国際人道法セミナー	山梨赤十字会館	1

4 青少年赤十字の活動状況について

(1)活動状況

月 日	行 事	会 場	参加者数
11月18日	青少年赤十字活動研究指定校 公開研究会	中央市立玉穂中学校	奉仕団 1 職員 2

5 献血事業について

血液製剤の安定供給体制を確保するために献血キャンペーンを実施し、県民の方々に献血に関する理解と協力を求めました。

キャンペーン名	月 日	会 場
愛の血液助け合いキャンペーン	令和6年7月14日(日)	イオンモール甲府昭和店

6 赤十字社旨普及活動について

(テーマ)『人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.』

支部・病院・血液センターによる運動展開

(1) 広報活動

- 赤十字運動月間 2024 の実施
 - ・赤十字運動月間キャンペーン「レッドライトアップ 2024」の実施
- 報道各社協力によるPR活動
- 「赤十字やまなし」(事業報告兼広報)山梨県下全世帯30万部配布
- ホームページによる情報発信
- 市町村広報誌の協力によるPR活動

- 甲府商工会議所協力による PR 活動
- 山梨県中小企業団体中央会協力による PR 活動
- 山梨県商工会連合会協力による PR 活動

(2) 日本赤十字社山梨県有功会

役員名

会 長	高野孫左エ門
副会長	進藤 中
	鬼頭 芳雄

会員数 249 名・社（個人70名・法人179社）

年間行事

- ・50周年記念総会・役員会の開催 7月12日（金）会場：ベルクラシック甲府
来賓・会員 56名参加
- ・仲間づくり運動と会員募集運動の推進
- ・支部事業への協力
- 有功会 50周年記念特別寄附金の募集

II 施設事業について

1 山梨赤十字病院

令和6年度は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の取り扱いが「2類相当」から「5類相当」に変更されコロナ禍が落ち着いてきたものの、現在でも新型コロナウイルス感染症は医療現場の「日常」に大きく影響を及ぼしており、感染拡大防止のための対策を万全にした「ゼロコロナ」を継続しております。

新型コロナウイルス感染症が落ち着きを見せる中、当地域は富士山をメインとした世界的な観光地であり、世界からのインバウンド観光がコロナ前以上に旺盛となりオーバーツーリズム(観光公害)が発生するなど凄惨な状況となっております。

一方で、病院運営においては看護職員の離職者数の増加により病院運営に多大な影響が生じ、看護管理体制等の維持のため一部病棟閉鎖の措置を取ってきました。令和7年度の看護職員採用者数が予定数の確保を出来ておらず病棟再開に向けても一部制限が発生しており、正常な病棟運営が見込めていない状況となっております。

病院経営としては、新型コロナウイルス感染症により医療機関からの診療抑制、患者さんからの受診抑制とが相関的に発生したことが入院・外来患者数ともに激減し、特に入院患者数は一部病棟閉鎖の影響もあります。新型コロナウイルス感染症の発生前の状況が回復できず経営悪化に陥っている要因であると感じております。

また、2025年に向けて進められていました地域医療構想の最大の目的は病床数・病院数の削減でありましたが、新たな地域医療構想として2040年頃に向けて入院医療だけでなく、外来・在宅医療、介護との連携等を含む医療提供体制全体の課題解決を図るための地域医療構想が示されました。当院もこの状況で当院の実態と医療制度改革を踏まえ、2040年を見越した変革を実践するための選択と集中をテーマに課題等の抽出を実践し病院機能の改革に取り組んできました。

病院運営概要は以下のとおりです。

○ 医療供給体制

(1) 医療従事者確保に向けた対応

医療従事者については、看護師を軸として全国的に人材不足が問題となっている。令和6年度も看護師を軸として医療従事者の確保が重大な課題となった。当院においても離職者を補う人数が確保できず病棟運営に多大な影響が生じた令和5年度に引き続き令和6年度も1病棟(53床)の閉鎖を余儀なくされた。その中で、令和7年度には外国人介護福祉士の養成として特定技能職員としてミャンマー国籍の職員5名を採用した。また昨年度以降、おもに看護職員で構成される労働組合とは労働争議が継続している。

(今後の対応策)

- ① 病棟単位での適正な看護師配置人数の把握

- ② 他の赤十字施設ガイドラインを参考にした勤務シフト表の構築
- ③ 看護師の有給休暇・振替休日の管理
- ④ 看護師、介護福祉士、看護助手、社会福祉士等の派遣委託業者の積極利用
- ⑤ 赤十字病院グループへの積極的な派遣要請

(2) 医師、医療従事者の働き方改革への対応

「医師の時間外労働規制について」への対応として A 水準(医師 1 人の年間の時間外労働960時間以下)での運用で令和6年4月より開始した。また深夜の二次輪番対応、周産期対応については労働基準監督署へ宿直許可申請を実施し許可を取得済みとなっている。また、医療技術者(主に放射線技師、検査技師)の二次輪番対応として変形労働制を導入しシフト勤務により夜間、深夜を勤務として対応を開始し労働基準監督署より許可を取得している。令和6年度においては、医師 1 人の年間の時間外労働960時間を超える医師はいなかった。

(3) 地域医療構想への取り組み

(地域包括医療病棟入院料の取得)

新たな地域医療構想として2040年頃に向けて入院医療だけでなく、外来・在宅医療、介護との連携等を含む医療提供体制全体の課題解決を図るための地域医療構想が示された中、当院は2024年度診療報酬改定で新たに新設された「地域包括医療病棟入院料」の施設基準の取得を目指し、収益減少の対応策として地域包括医療病棟の安定的な運営を進めるため、3階東急性期一般病棟(53床)を地域包括医療病棟(51床)へと回復期仕様の改修工事を実施し、2025年2月末に改修工事が完了した。同年3月以降、地域包括医療病棟入院料の施設基準取得のための準備を整え、同年5月より運用を開始している。

複合ニーズとして、医療と介護のニーズを抱える 85 歳以上の高齢者の増加や人口減少が進む一方、富士・東部医療圏の人口は2040年に向け大幅に減少するなか65歳以上の高齢者は2025年度以降も横ばいのトレンドで推移することが見込まれており、65歳以上の高齢者の救急受け入れから在宅復帰まで支援する新たな施設基準の取得でより新たな医療ニーズにマッチした体制の整備が図られた。

(4) 新たな新型コロナウイルス発生時への事前対策

(感染患者管理体制の運用開始)

新型コロナウイルス感染症の院内クラスターの発生により病院運営におけるの苦い経験を活かすため、新たな隔離管理の必要となる感染症が発生した場合を想定し、山梨県協定締結医療機関施設整備事業費補助金の交付を受け、2階・3階東急性期一般病棟の全面改修工事を実施しており、2025年2月末には富士・東部地域で唯一個室19床を完全に隔離管理できるための設備やウイルスの室外への暴露を防止するため全室の空調を陰圧に転換するため設備の設置、またユニット型のトイレ・シャワーを設置し運用を開始している。また感染患者の専用導線を確保するためのゾーニングパネルの整

備も進めた。この整備により富士・東部地域で他の感染症で重篤状態の感染患者の管理体制も図られた。

○ 赤十字施設としての取り組み

(1) 災害救護活動の充実

災害救護活動訓練及び研修等への参加を積極的に行い、令和6年度は日赤第2ブロック支部災害救護訓練や県の広域医療搬送訓練へ、計2回延べ15名が参加した。

さらに、DMAT研修会等には、計4回延べ18名が参加し、令和6年度末のDMAT登録者は23名である。

(2) BCP(医療継続計画)

BCPは、災害などの緊急事態が発生したとき、損害を最小限に抑え、事業の継続や復旧を図るための計画である。当院は日本赤十字社の医療機関であり、災害時には被災者の治療を提供することが求められる。発災直後、発災から被災者の来院が始まるまで、被災者の対応、そして通常業務の再開などそれぞれの局面での対応が円滑に出来ることが必要である。当院の設備、マンパワーを活かして令和7年3月に大規模災害を想定した院内訓練を実施した。

2 山梨県赤十字血液センター

日本赤十字社では、平成24年度より血液事業の運営体制を広域化し、全国を7つのブロックに分け都道府県の枠を超えての需給体制を構築しており、「効率的な事業運営」、「血液製剤の安全性の向上」及び「安定供給の確保」が図られているところです。

山梨県赤十字血液センターについては、関東甲信越ブロック(1都9県)とともに「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」や「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」などの関係法令を遵守した事業管理体制を構築して事業に取り組んでおります。

(1) 血液製剤の安定供給

令和6年度は、赤血球製剤は前年度比6.2%減少、血漿製剤は0.2%増加、血小板製剤は5.0%減少しました。全体としては4.8%減の供給となりました。

赤血球製剤は、前年度と比較して減少となりました。血漿製剤については、令和6年度は血漿交換の症例数は昨年度並みとなり、わずかに増加となりました。血小板製剤については、一昨年から主要医療機関の1つで、血液内科の医師数が減少し、新規患者の受け入れが困難な状況が継続しており、血小板輸血依存の患者が少なかったこともあり、前年度に比べ減少しました。

高齢化の進展により、輸血用血液製剤を必要とする高齢者の人口が増加しています。しかしながら、腹腔鏡下手術など出血量を抑えた医療技術の進歩により、輸血用血液製剤の供給は減少傾向にあり、また1週間を基軸とした綿密な需要予測と広域需給管理体制のメリットを最大限に生かすことにより、過不足のない安定した供給ができました

供給実績

(200mL献血由来製剤を1単位とする)

	全血製剤	赤血球製剤	血漿製剤	血小板製剤	合計
令和5年度	0	38,256	12,280	35,645	86,181
令和6年度	0	35,893	12,302	33,880	82,075
前年比		93.8%	100.2%	95.0%	95.2%

(2) 献血者確保状況

移動採血バスでは、既存の献血協力団体に加え、コロナ禍以降実施を見送っていた休眠団体の復活や、新規団体の発掘を行いました。また、採血バス1台あたり400mL献血で50人の確保を目標に、昨年度に引き続き担当者との打ち合わせ、広報活動、献血セミナーの実施や献血経験のある方へのハガキ・メールによる依頼などを行うことで、必要な献血量を確保できました。

献血ルームでは、移転から2年が経過しましたが、毎月の計画に対してはメール依頼を続けた他、季節キャンペーンの実施などで確保しており、綱渡り状況が続いています。移転前レベルに回復する状況には至っておらず、今後は献血ルームに動員協力いただける新規団体の獲得を目指しているところです。

また、予約献血は、献血ルームでは多くの方に利用されておりましたが、移動採血バスにおいても

徐々に予約献血が広まりつつあります。献血会場での待ち時間や滞在時間の短縮が出来るなど、献血者にも利便性が大きいことから今後も積極的に推進を図って参ります。

全血献血に占める 400mL 献血の割合については、高等学校以外の献血会場で 400mL 献血を強力に推進した結果 96.9%となり、97.0%以上である医療機関の需要に近い採血を行うことが出来ました。

若年層献血の推進については、高等学校や大学・専門学校での献血の実施や、献血の重要性を高校生に知ってもらうための献血セミナーを昨年度より多くの学校で実施することができました。また、献血の所要時間の短縮を図るために、献血 Web サービス「ラブラッド」を使用した、献血の予約・事前問診の推進を行いました。

採血実績

(単位:人)

区分	200mL	400mL	成分	合計	計画人数	計画比
移動採血	696	16,488	0	17,184	16,377	104.9%
献血ルーム	57	7,319	12,459	19,835	18,558	106.9%
合計	753	23,807	12,459	37,019	34,935	106.0%

(3) 輸血用血液製剤の安全対策

従来から実施している献血受け入れ時の献血者の本人確認の実施など、「安全性の向上」に向けた 8 項目の対策を適切に実施しました。

(4) 各種キャンペーン・イベントの推進

若年層献血・複数回献血の推進に努め、成分献血・400mL献血の理解促進に主眼をおいたキャンペーンを実施しました。

実施月日	キャンペーン名	場所	内容	献血者数
令和 6 年 6 月 14 日	世界献血者デー	富士吉田市役所 甲府献血ルーム	街頭献血イベント 献血ルームイベント	136 人
7 月 14 日	愛の血液 助け合い運動 街頭献血 イベント	イオンモール 甲府昭和	街頭献血イベント	78 人
9 月 28 日	ヴァンフォーレ甲 府応援献血	小瀬スポーツ公園	街頭献血イベント	65 人

10月27日	ハロウィン献血	イオンモール 甲府昭和	学生献血推進協議会による 街頭献血イベント	69人
12月15日	全国学生 クリスマス献血 キャンペーン	イオンモール 甲府昭和	学生献血推進協議会による 街頭献血イベント	84人
令和7年 1月12日	はたちの献血 街頭献血 イベント	イオンモール 甲府昭和	街頭献血イベント	56人
2月23日	ふじさん献血	イオンモール 甲府昭和	静岡県赤十字血液センター との合同献血イベント	67人
通年	令和6年度献血 推進方策		各種キャンペーン、 CM放送による若年層への 献血啓発	
通年	VF甲府との コラボ企画		ポスター・クリアファイルの 作成・配付、献血啓発	

(5) 医薬情報活動

① 医療機関への情報提供

輸血用血液製剤に関する情報提供について、下表のとおり情報媒体を県内医療機関へ配付しました。輸血管理部門担当者や医師・看護師等を対象とした説明会や医療機関の理解を得て院内輸血療法委員会へ出席し情報提供を行いました。

お知らせ

発行月	内容
令和7年 2月	細菌スクリーニングを導入した新規血小板製剤の製造販売承認取得のお知らせ

輸血情報

発行月	内容
令和6年 4月	薬価改定号 2404 輸血用血液製剤の薬価・医薬品コード・レセプト電算コード等について－令和6年4月現在－
令和6年 6月	診療報酬改定号 2406 輸血等に関する診療報酬について－令和6年6月現在－
令和6年 8月	輸血情報 2408-182 輸血用血液製剤との関連性が高いと考えられた感染症症例－2023年－
令和6年 8月	輸血情報 2408-183 赤十字血液センターに報告された非溶血性輸血副作用－2023年－

令和6年10月	輸血情報 2410-184 新型コロナウイルスの輸血感染リスクについて～献血後情報に基づく調査から得られた知見～
令和7年 2月	輸血情報 2502-185 輸血関連循環過負荷 (TACO) の危険因子について
令和7年 3月	輸血情報 2503-186 新たな安全対策について－血小板製剤への細菌スクリーニングの導入－

② 医療機関との連携

医療機関との連携による輸血副作用情報の収集について、9施設から 152 件を収集しました。

③ 看護師対象の輸血基礎セミナーの開催

講師に県内の学会認定臨床輸血看護師をお招きし、県内医療機関における輸血医療の向上を目的として看護師対象の輸血セミナーをオンラインで開催しました。

開催年月日	内 容	参加者
令和6年11月7日	講演 「血液製剤の種類と特徴・安全対策」 「副作用の発生状況と事例紹介」 「看護現場における輸血 Q&A」	28 施設 58 名

④ 医療機関での説明会・輸血療法委員会への参加

輸血管理部門担当者や医師・看護師等を対象とした院内説明会を 13 回開催しました。また、医療機関の理解を得て院内輸血療法委員会へ 11 施設のべ 13 回出席しました。

⑤ 医療機関との連絡調整会議の開催

山梨県では「山梨県合同輸血療法委員会」を設置し、血液製剤の適正使用の推進及び安全な輸血医療の確保に取り組んでおり、血液センターも委員として参加し協力しました。令和6年度は、新たに看護師対象輸血セミナーを開催し、県内で輸血に携わる看護師の方にご参加いただきました。

開催月日	会議名	内容
令和6年 7月 3日	山梨県合同輸血療法委員会 (オンライン)	令和5年度当県の現状について 令和6年度事業計画案について
令和6年 9月 24日	看護師対象輸血セミナー (オンライン)	輸血用血液製剤が届くまで 輸血用血液製剤の種類と特徴 輸血副作用 看護師が行う輸血の実施業務
令和6年10月 1日	第1回 血液製剤の需給に係る連絡会 議	令和5年度の当県の現状について 血液製剤の廃棄量削減について 災害時の供給体制 他

	(オンライン)	
令和6年10月21日	第1回 I&A 委員会(オンライン)	相互視察に向けて指摘事項等の確認
令和6年10月25日	I&A 委員会相互視察(現地)	相互視察(対象:白根徳洲会病院)
令和7年 2月21日	山梨県合同輸血療法委員会 委員長会議 (オンライン)	「災害時における血液製剤供給体制について」(福岡県赤十字血液センター学術情報・供給課長 小田秀隆) 他
令和7年 3月13日	第2回 血液製剤の需給に係る連絡会議 (山梨県立文学館研修室)	血液センターからの情報提供・意見交換 ・供給体制について ・血小板製剤の細菌スクリーニング導入について 講演「医療機関における災害時の輸血療法マニュアル」(けいゆう病院 小川寿代先生) 他

⑥ 山梨輸血研究会

山梨輸血研究会は、県内輸血医療関係者で構成されている研究会で、血液センターが事務局をしています。輸血医療の向上と情報交換を目的とし、研究会の開催や会報の発行、ホームページの管理を行っています。

第40回 山梨輸血研究会 総会	開催日:令和7年2月15日(土) 場 所:山梨大学医学部 臨床講義棟小講堂/Microsoft Teams(ライブ配信) 一般演題:4題 特別講演:「大量出血症例に対するより適切な輸血療法の確立を目指して —長期保存、迅速投与可能な新規血液製剤の有用性の検討」 日本赤十字社血液事業本部 中央血液研究所 宮田 茂樹 先生
-----------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(6)骨髄バンクへの協力状況

- ① ドナー(骨髄提供希望者)登録受入及び検体採血
- ② ドナー登録会への協力
- ③ 令和 7年 3月末現在 県内有効登録者数 2,043人 全国 562,452人

(7)会議、研修会等の開催と参加

県や献血関係諸団体等と連携し、研修会等を開催しました。

* 諸会議

実施月日	会議名	場 所	内 容
令和6年 4月26日	山梨県献血推進 協議会総会	山梨赤十字会館	事業報告及び山梨県献血推進 計画(案)の協議、献血及び供給 の現状の説明
5月28日	血液事業推進会議・ 市町村血液事業 担当者会議	山梨県防災新館	事業報告及び山梨県献血推進 計画の説明、献血及び供給の現 状の説明、保健所・市町村の取り 組みの発表
11月7日	ライオンズクラブ国際協 会 330-B 地区と赤十字 血液センター合同会議	ベルクラシック甲府	血液事業の現状及び今後のお 願い、講演「より安全な輸血を目 指して」、献血活動について(事 例発表)
令和7年 3月19日	血液事業推進会議	オンライン会議	山梨県献血推進計画(案)につ いて、献血・供給の状況及び計 画について、献血団体名簿につ いて、各保健福祉事務所の献血 推進状況について

* 研修会等への参加

実施月日	研修会名	会 場	参加人数
令和6年 6月11日	山梨県高等学校・特別支 援学校副校長・連絡会	山梨県総合教育センター	56人
6月20日	山梨県高等学校・特別支 援学校養護教諭連絡会議	山梨県総合教育センター	60人
7月2日	山梨県高等学校・特別支 援学校長連絡会	県立青洲高等学校	45人
7月3日	甲府南ライオンズクラブ例 会	甲府南ライオンズクラブ事務局	13人
7月5日	西桂町献血推進協議会	西桂町いきいき健康福祉センター	30人
7月9日	施設見学会 (赤十字奉仕団高根分団)	山梨赤十字会館	19人
8月30日	リレー・フォー・ライフジャパ ン甲府(がん患者支援・が ん征圧イベント)	山梨県立大学(池田キャンパス)	30人

9月11日	施設見学会 (甲府青年会議所)	山梨赤十字会館	29人
令和7年 2月17日	施設見学会 (中央市赤十字奉仕団)	山梨赤十字会館	22人

* 若年者献血セミナー事業

実施月日	研修会名	会 場	参加人数
令和6年 5月7日	献血に関するセミナー	市立甲府商科専門学校	112人
6月5日	献血に関するセミナー	身延山高等学校	25人
7月17日	献血に関するセミナー	県立甲府工業高等学校(定時制)	50人
8月26日	献血に関するセミナー	市立甲陵高等学校	360人
9月9日	献血に関するセミナー	県立北杜高等学校	166人
9月10日	献血に関するセミナー	駿台甲府高等学校	300人
10月7日	献血に関するセミナー	県立上野原高等学校	61人
10月18日	献血に関するセミナー	帝京第三高等学校	147人
11月1日	献血に関するセミナー	山梨学院中学校	68人
11月6日	献血に関するセミナー	県立塩山高等学校	70人
11月8日	献血に関するセミナー	県立富士北稜高等学校	183人
11月13日	献血に関するセミナー	県立農林高等学校	110人
12月4日	献血に関するセミナー	県立白根高等学校	120人
12月9日	献血に関するセミナー	県立青洲高等学校	264人
12月13日	献血に関するセミナー	県立巨摩高等学校	291人
12月18日	献血に関するセミナー	県立都留興譲館高等学校	350人
令和7年 1月15日	献血に関するセミナー	県立山梨高等学校	140人
2月5日	献血に関するセミナー	県立甲府工業高等学校	245人
2月13日	献血に関するセミナー	甲斐清和高等学校	125人

(8) 献血推進功績者に対する表彰

① 第60回献血運動推進全国大会

令和6年7月18日に岐阜県(長良川国際会議場メインホール)において開催されました。

献血推進に功績のあった県内1団体に厚生労働大臣表彰状、3団体に厚生労働大臣感謝状が後日行われた、「献血感謝のつどい in 山梨」において贈呈されました。

② 献血感謝のつどい in 山梨

令和6年10月21日に防災新館やまなしプラザ(オープンスクエア)において実施されました。

献血推進に功績のあった3団体と個人10人に山梨県知事表彰、個人59人に日本赤十字社表彰(金色有功章)、106人に日本赤十字社表彰(銀色有功章)が贈呈されました。

③ 多回献血者顕彰(献血現場にて記念品を贈呈)

献血回数	10回	765名
	30回	305名
	50回	153名
	50回以上※	40名
合計		1,263名

※令和2年11月より献血者顕彰規程が改正されました。